

# HANDBOOK 留学ハンドブック for STUDY ABROAD

Tama Art University  
International Exchange Center

2024





# HANDBOOK 留学ハンドブック for STUDY ABROAD Tama Art University International Exchange Center 2024

## 留学って、なんだろう？

- 4 留学って、私にもできますか？

## 留学って、どうすればできるの？

- 10 留学制度の種類
- 14 交換留学
- 18 Pacific Rim
- 22 私費留学
- 26 留学実現のための5ステップ
- 28 留学実現のためのポートフォリオ制作
- 32 留学実現のための語学力アップ in 多摩美
- 34 卒業後の留学 ① 海外大学院進学
- 36 卒業後の留学 ② アーティスト・イン・レジデンス
- 38 卒業後の留学 ③ ワーキングホリデー

## 国際交流センターって、どんなところ？

- 42 国際交流センター
- 44 語学サポート・イベント
- 46 MANIWA's ROOM
- 50 渡航に向けての準備
- 51 安全対策リンク集・奨学金情報
- 52 留学 FAQ



# 留学って、私にもできますか？



**Q** 留学って、あまりピンとこないのですが…？

**A** 加藤理子 芸術学科 卒業  
私費留学：ブラット・インスティテュート

将来の夢を実現するために、日本国内では探せない学びの機会を見つけられるのが留学の意義だと思っています。もちろん留学意義は大学の授業だけではありません。海外に行くとき「本気で心を動かされる瞬間」に出会うことができます。これは自分の表現の幅を広げるためには大切な経験だと思います。また、海外に出ることで、逆に日本の魅力を再確認することもできます。夢を実現するために自分に足りないものを考えて、それが海外で手に入るなら、迷わず留学という選択肢を選んでください。得るものが必ずたくさんあるはずですよ！

**Q** 留学の手続きって、大変そうじゃないですか？

**A** 三井悠華 芸術画専攻 卒業  
大学院進学：国立台湾芸術大学

留学を実現するためには、成績証明書や語学テストのスコアに加え、教員の推薦書、ポートフォリオなどの提出が求められます。さらに出願後は、学生ビザの申請などもあります。これらをすべてひとりで……と思う気が遠くなりますが、国際交流センターで相談しながら、着実にステップを踏んでいけば、必ずクリアできます。留学が気になるなら、早めに国際交流センターへ！

**Q** 英語に自身がないんですけど、大丈夫ですか？

**A** 鍋島柚葉 油画専攻

多摩美では、目的や語学力に応じて英語のカリキュラムを選択することができるので、授業で着実に力をつけていくことができると思います。

しかし、私の場合は、もう少し自分に合ったやり方で英語を学びたくて、国際交流センターでコーチングを受けていました。コーチングを利用することで英語の苦手意識がなくなりました。職員さんに自分の希望に応じた学習プランを立ててもらったり、指導してもらっていたので、ひとりでも勉強に向き合うことができました。

**Q** 留学はちょっと、ハードルが高い気がします。

**A** 摩庭啓人 国際交流センター

留学に興味があるけれど、心配事や不安があって諦めてしまっているという人も多いと思います。そんな学生の皆さんは、まずは気軽に国際交流センターへ相談しに来てください。一人ひとりに合った留学先や留学プログラムと一緒に考えるところから、利用できる奨学金制度の紹介、語学力の向上まで学生の目線に立ってサポートします。職員が英語・中国語・韓国語を教えるコーチングでは基礎から語学を学ぶことも可能です。また、留学先の国や留学の目的がはっきりしていなくてもOKです。「なぜ留学に行きたいのか」というところから掘り下げていきましょう。国際交流センターはオープンな雰囲気でも出入りできます。ぜひこの環境を活用してください！

**Q** 留学中の食生活って  
どんな感じなのでしょう...？

**A** 南雲未希 日本画専攻 卒業  
交換留学：国立台北芸術大学

台湾の食文化に対応するのは決して難しくありませんでした。甘めの味付け、ニンニクや八角が効いていたり、若干油っぽかったりと日本の食べ物とは違う台湾独特の特徴がありました。毎食美味しくいただきました。台湾の大学はビュッフェ式量り売りの学食が主流のようで、留学先の大学にもこの学食がありました。肉、魚、野菜の様々な種類のおかずを好みの量とれ、その場で友達と一緒に食べることも、お弁当箱に詰めてアリエヤや宿舎でも食べることもできるので、とても便利でよく利用していました。台湾は「素食」というベジタリアン料理が普及していて専門のお店があるなど食の多様性を感じる機会が多かったのですが、学食においてもベジタリアン専用のレーンが設けられており、多くの学生が食事を楽しめるよう配慮されていて非常に感心しました。

台湾の食べ物で困ることはほぼありませんでしたが、基本的にどの料理も加熱調理され、しっかりと味付けされたものが多く、あっさり、さっぱりしたものを食べなくなり、日本食が恋しくなる時がありました。そんな時は日本の飲食チェーン店に行って食事をしました。日本で食べるよりも少し値は張りますが、店舗数が多く身近に日本食が食べられるので助かりました。



台湾での食事

**Q** 住む場所を探したり、実際に海外  
に住むのって大変ですか？

**A** 松澤薫 油画専攻 卒業  
交換留学：ベルリン芸術大学

私は大学付近にある交換留学生専用の寮に住んでいました。大学ではドイツ語が基本ですが、寮はいろんな国からの交換留学生が集まっているので英語が基本でした。私が来た時は、出て行く人と時期が重なることもあり、Wi-Fi やドライヤーを10 ユーロほどで売ってくれました。寮で仲良くなった人たちと定期的に一緒に夕食を作り、みんなでディナーを楽しみました。私の誕生日もみんなが祝ってくれました。家が同じようなものなので、夜遅くに一緒にクラブに行ったりしました。帰国する頃には、英会話力が前よりずっと上達していました。



ベルリンの大学寮

**A** 岩渕晴香 油画専攻 卒業  
交換留学：国立高等装飾美術学校

住居探しについては、私は住居検索のサイトを利用しました。そこで見つけた日本人が幸運にも多摩美のOBで、さらにその方から直接ホームステイ先を紹介してもらったので、そこまで苦労はしませんでした。しかし、サイトをよく見て自分で連絡先を見つけ、コンタクトを取りつけるなど普段であればしないような少し大胆な行動をとったのも事実です。よく情報を見ながらがむしやらに動いてみるのも一つの手だと思います。実際に住んでみると言葉が通じないことは大変でしたが、その分現地文化や言語を学ぶ意欲が他の留学生より格段に上がっていたと思います。

**Q** 外国で友達を作れるのか、  
とても心配です。

**A** 村岡莉帆 テキスタイルデザイン専攻 卒業  
交換留学：オスロ国立芸術大学

留学先では知り合いがいない中、一人で現地のクラスに参加するので、自分から進んで周りコミュニケーションを取ろうとする姿勢を見せることが友達作りの鍵になると思います。

最初はわからないことも多く、クラスメイトに助けてもらうことも多くあります。その際に一方的に助けてもらうだけではなく、きちんとお礼を言ったり可能な限り周りの人と協力しようとするので相手との接点が増え、人となりを知ってもらうチャンスが生まれます。また、少しでも留学先の文化や言語を学び、受け入れる努力をすることでその国への敬意を示すと、現地の人もより友好的に接してくれます。会話の中でも相手との共通点や自分が興味を持っていることなどを積極的に話すことで話題を広げ、楽しみながら人間関係を構築していくのがおすすめです。留学中に築いた人脈に救われることが日本に帰国した今でも多々あるので、どんな些細なきっかけも逃さずに大切にしてください。

自分がたくさんの人に支えられて暮らしていることを忘れず、常に感謝の気持ちを持って行動していればその気持ちが相手に伝わり、友達も自然とできていくはずですよ。



同じスタジオのメンバーたち

**Q** 留学先での授業以外に、  
どんなことができますか？

**A** コウリンカク プロダクトデザイン専攻 卒業  
交換留学：アアルト大学

私が交換留学をしたアアルト大学は、とても自由な雰囲気、授業も休日自分でスケジュールを立てることができ、フィンランドは自然に囲まれている所で、お休みの日によく公園で散歩したり、釣りをしたり、自然を感じながらのんびり過ごしました。私は美術館や博物館が大好きで、フィンランドには美術館の年間パスポート (museokortti) があり、68 ユーロで全国の美術館や博物館で使用でき、とてもおすすめです！週末に都心の美術館を訪れる途中に市内観光もでき、他の都市で気になる美術館や展覧会があれば、その町への旅行のきっかけとなります。

また、様々な風景を見て体験することが大事だと思ったので、留学中に12カ国へ旅行に行きました。友達と一緒に旅行することもあれば、時々一人旅も楽しみました。一人旅は自分のことだけに集中でき、何も気にせずに好きな所に行ったり、単純に好きな作品を味わったりして本当に幸せな時間でした。旅行中に会った人や見た風景は、自分の世界観に影響し、今までの人生の中で貴重な経験となりました。



留学先で見たオーロラ



# 留学制度の種類

一口に「留学」と言ってもさまざまな種類があります。

それぞれの方法のメリット、デメリット、留学可能な大学などをチェックして自分に合った留学方法を見つけましょう。

	交換留学	Pacific Rim	私費留学
留学先	海外協定校	アートセンター・ カレッジ・オブ・デザイン または多摩美	自分で探す
参加形態	個人	グループ	個人
応募枠	募集要項を参照 (各校につき1~2名)	10名	行き先による
言語	英語もしくは現地語	英語	行き先による
語学力	1次選考(多摩美学内選考) TOEIC 520点以上 TOEFL-iBT 41点以上 IELTS-Academic 4.0以上  2次選考(協定校による選考) 協定校によって 求められるスコアは異なる	TOEIC 400点以上 TOEFL-iBT 41点以上 IELTS-Academic 4.0以上 英検2級以上 CASEC 500点以上	行き先による
留学期間	1学期 (協定校によって異なり、3~6ヶ月間)	1学期	個人による
対象学年 (渡航期間)	学部3年後期・修士1年後期 研究室の許可があれば 学部4年・修士2年也可	学部2~4年後期 修士1~2年後期 (学科によって異なる)	特に定めなし
募集要項 公開時期	渡航前年度の6~7月	実施年度の3~4月	行き先による

	交換留学	Pacific Rim	私費留学
応募期間	渡航前年度の10~12月	実施年度の5月	特になし
対象学科	募集要項を参照	全学科 (詳細は募集要項を参照)	全学科
GPA	2.3以上	特に定めなし (ただし成績が良好な者)	行き先による
学費	多摩美の学費のみ (協定校の学費を払う必要なし)	多摩美の学費のみ (協定校の学費を払う必要なし)	多摩美の休学費 + 現地大学の学費
奨学金	多摩美から 交換留学生奨学金支給 (20万円)	外部奨学金の可能性あり	外部奨学金の可能性あり
単位認定	原則、進級に必要な 科目のみ認定する	原則、進級に必要な 科目のみ認定する	しない
留年	しない	しない	留学期間による
卒業時の 教員免許取得	不可	不可	可
卒業時の 学芸員免許取得	難しい	難しい	可
大学による サポート	あり	あり	なし

※制度内容が見直される可能性があります。正確な情報については募集要項を参考にしてください。

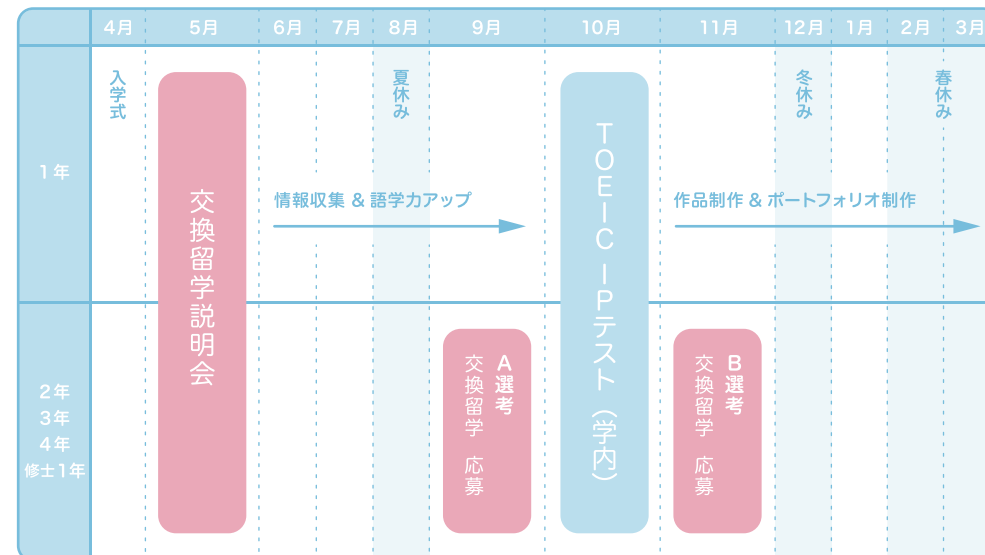


# 交換留学

交換留学制度とは、多摩美術大学と交換留学協定を結んでいる海外大学との間で約半年間、学生を相互に派遣・受入する国際交流プログラムです。本制度を利用した学生は、将来的にグローバルかつクリエイティブな人材として活躍することが期待されています。

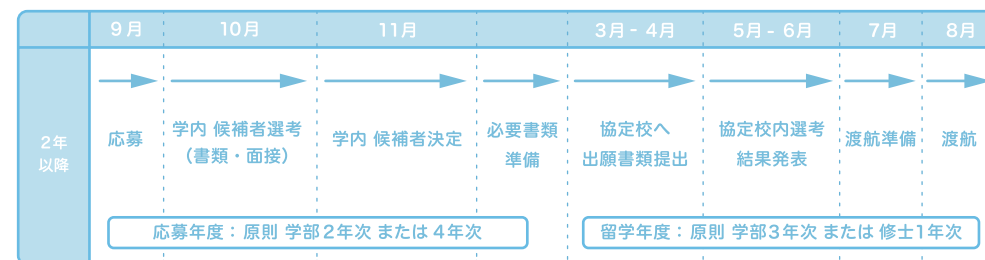
また留学中は、本学に授業料を納めることで、協定校（留学先）の授業料は免除されます。さらに派遣先大学における学習成果物に基づき、本学が適当と認めた科目（原則として所属学科・専攻・コースの進級必要要件科目）の単位が認定されます。このように交換留学制度では、留年することなく留学を実現することができます。交換留学の選考試験は甘くはありません。少しでも興味がある学生は、早めに国際交流センター職員に相談をしましょう。

## 入学から応募までの準備

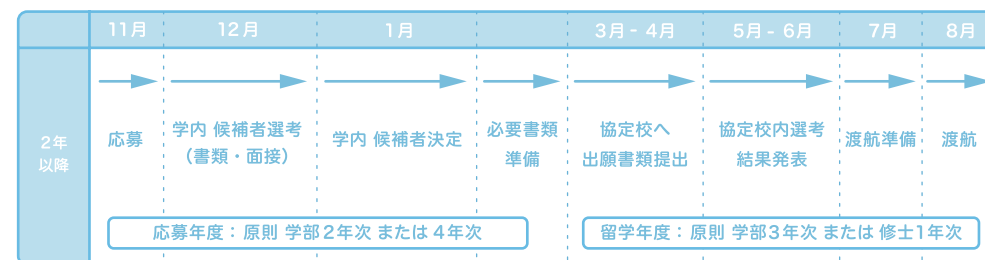


## 応募から交換留学までの流れ

### A選考（特定の学科・専攻・コースに開かれた選考）



### B選考（より多くの学科・専攻・コースに開かれた選考）





## 交換留学対象学科・専攻・コース

B: 派遣時に学部3年生 M: 派遣時に博士前期(修士)課程1年生\*

募集	協定校		推薦人数	留学期間*1 (1学期)	日本画	油画	版画		彫刻	工芸	グラフィック	プロダクト	テキスタイル	建築・環境	情報 (×芸・情テ)	芸術*2	統合	演劇舞踊 (演舞・劇美)	
A 選 考	ベルリン芸術大学	ドイツ	各1名	10月～翌2月								BM		BM*3	BM 各コース1名				
	オスロ国立芸術大学	ノルウェー	1名	8月～12月									BM						
	ヨーテボリ大学	スウェーデン	1名	9月～翌1月								BM*4							
	チェルシー・カレッジ・オブ・アーツ	イギリス	1名	9月～12月									B						
	グラスゴー美術学校	イギリス	1名	9月～翌1月									B						
	シンシナティ大学	アメリカ	1名	8月～12月									BM						
B 選 考	シラパコーン大学	タイ	1名	11月～翌3月	BM	BM	BM		BM										
	弘益大学校	韓国	2名	8月～12月	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	
	ソウル大学校	韓国	1名	9月～12月	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	
	中央美術学院*5	中国	2名	9月～翌1月	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		BM		
	国立台北芸術大学*6	台湾	1名	9月～翌1月	BM	BM	BM		BM		BM			BM	BM	BM	BM	BM	
	国立台湾芸術大学	台湾	1名	9月～翌2月	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM
	ヘリット・リトフェルト・アカデミー	オランダ	1名	9月～12月	B	B	B		B	B	B	B	B	B	B	B	B		
	ベルリン芸術大学	ドイツ	2名	10月～翌2月	BM	BM	BM		BM										
	国立高等装飾美術学校	フランス	1名	10月～翌1月	BM	BM	BM		BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	
	アアルト大学*7	フィンランド	2名	8月～12月	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	
	オスロ国立芸術大学	ノルウェー	1名	8月～12月									BM		BM				
	ヨーテボリ大学*7	スウェーデン	1名	9月～翌1月					B	B				B	B		B	B	
	ローザンヌ美術大学	スイス	2名	9月～翌1月			B		B		B	B	B	B	B		B		
	ウィーン応用美術大学	オーストリア	2名	10月～翌1月			BM		BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM*8
	ロイヤル・カレッジ・オブ・アート*9	イギリス	2名	10月～12月	M	M	M		M	M	M	M	M		M				
シンシナティ大学	アメリカ	1名	8月～12月	BM	BM	BM		BM	BM	BM			BM	BM	BM	BM	BM		

\*Bが記載されている協定校へ学部4年次に留学を希望する者、あるいはMが記載されている協定校へ修士2年次に留学を希望する者は、卒業・修士制作時期と留学期間が重なることについて、研究室および担当教員に相談し、許可を得ることができれば応募可能。

\*1. 派遣時期については、変更となる可能性がある。

\*2. 芸術学科の学生派遣については、作品制作を行っている学生が主な派遣対象となる(理論系プログラムへの応募の場合は、制作活動をしていなくても良い)。

\*3. 建築専攻の学生のみ派遣対象とする。 \*4. 修士課程については、Child Culture Designプログラムのみ応募可とする。

\*5. 派遣先学科は「建築、設計、実験芸術、版画、油画、壁画、彫刻」のいずれかであり、特に高い中国語能力が求められる。

\*6. Department of Theatrical Design and TechnologyおよびDepartment of Theatreに応募する場合は、特に高い中国語能力が求められる。

\*7. 派遣先学科に制限があるため、最新の募集要項(例年6-7月公開)を必ず確認すること。

\*8. 演劇舞踊デザイン学科の派遣対象は、劇場美術デザインコースの学生のみとする。

\*9. 現在交換留学を実施していない。再開は未定。

内容は変更になる場合があります。毎年6～7月に国際交流センターのWebページで公開される最新の募集要項を必ず確認してください。

# 交換留学 体験記

よく耳にする「交換留学」。でも、実際どんなものなのかはよくわからない…。交換留学を経験した3人の先輩の体験記を読みましょう。



## 児玉 睦

建築・環境デザイン  
交換留学：オスロ国立芸術大学

好きなことを留学先でも追いつけ、日本とは異なる結果に心躍った。



デザイン教育において有名で自由な表現を家具や空間デザインに取り入れているオスロ芸大で空間について学びたいと思い、留学を志しました。交換留学は専門分野の技術的な習得に加え、自分の置かれている環境について見つめ直す良い機会だったと思います。人との交流や日常生活、旅などで目にした新たな光景や価値観、景色などは素晴らしいものでした。この体験がインスピレーションの扉となればと思い、私はノートにまとめて記録しました。また、留学中にルームメイトと楽しく生活したことが印象に残っています。毎日の何気ない会話や、一緒に食事をしてお互いの文化の違いを楽しんだのはいい思い出です。

留学を志すみなさんへのアドバイスとしては、語学学習と好きなことを極めることです。英語は使わなければ忘れてしまうので、私は単語の練習と週に一度オン

ラインで英語の先生と話す練習をしました。語学力は交友関係と可能性を広げる上で不可欠だと感じます。さらに日本で極めていた好きな事を留学先でも追いつけると、日本とは異なる結果に心踊る瞬間がありました。留学を通じて異なる地で生活をし、発見や気づきがたくさんあり価値のある時間であったと思います。



オスロ市内の小道

## 田中 秀汰郎

メディア芸術コース  
交換留学：ローザンヌ美術大学



自国の課題や長所を客観的に観察することができた。

写真をベースとした芸術表現の知識と技術を磨くために、スイスのローザンヌ美術大学への留学を志しました。グローバルに活躍するアーティストや、ハイブランドの広告を担当する写真家の先生方から直接技術を学べるのは、とても貴重な機会でした。授業はフランス語でしたが、英語が話せれば授業についていくことはできました。しかし、大学の公用語の学習はできる限り早めに準備したほうが良いと思います。

今回の留学を通じて、学内だけでなく現地の様々な人々と交流し、文化的差異を超えて、他国のリアルな生活について学ぶことができました。また、自国の課題や長所を客観的に見ることもできるようになりました。今後はこの経験を活かし、グローバルな視野を持つ大学院への進学を目指しています。

留学は正直、準備や計画が非常に大変です。挑戦しても成功するとは限りません。しかし、多摩美では、そのような挑戦を全力でサポートしてくれる環境があります。また、願望を心に留めておくだけでなく、勇気を出して海外に行きたいと声に出すことで、広がる交流の可能性もあります。ぜひ、挑戦してみてください。



大学内の作業風景

## 小山田 詩乃

プロダクトデザイン専攻 卒業  
交換留学：アアルト大学



自分の判断の軸を進化させるために世界を知り、異文化を学ぶ。



同じ学科の交換留学生

私のもともと思想や言語、文化の「違い」を超え繋がることに興味がありました。またデザインを学んでいく中で、次第にデザイン以外の領域との繋がりを感じたり、より多様な文化や背景、価値観を持つ人たちと交流し学び、視野や考えを広げ深めていきたいと考えようになり、アアルト大学への交換留学を志しました。

英語は好きでしたが流暢な方ではなかったため、とにかく英語に触れる機会をたくさん作りました。留学前も後も言語の壁を怖がらずに話したい、生きた英語に触れて耳と口を同時に鍛えていきました。

留学を通し、自分の中の価値観や信念というものが大きく変化しました。正直自分でもその変化に少し戸惑っていますが、自己が広く深く変容していったのだと考えています。今後はその変化も含め、交換留学で培った力を自己の夢へと注ぎ込んでいきたいです。

交換留学を志す時、不安な点が多く浮かぶと思います。しかし、一度でも留学してみたいと思ったのなら、ぜひ挑戦してみてください。「本当にやりたいこと」は怖いですが、取り組んで後悔はしません。そして挑戦できる人は、その経験が必ず今後の力になると思います。



# Pacific Rim

Pacific Rimプロジェクトとは、全米トップの美術大学のひとつである、アートセンター・カレッジ・オブ・デザインと協力し、2006年から実施している本学独自の留学制度のひとつです。

このプロジェクトでは1年ごとに開催地をアメリカと日本で交互に設定し、現地に3～4か月滞在しながら共同研究を行います。日本で実施の年度も指導教員にはアートセンターの教員がいるため、授業は全て英語で行われ、国内にいながら留学を経験することができます。両校の学生たちが少人数の混成チームを組み、言語や文化の壁を越え、リサーチや特別講義、ディスカッションによって課題への理解を深めながら、アートとデザインの力によって日常的な課題の解決に取り組みます。

将来的に海外での展開を視野に入れている学生にとって、英語力の向上を図りながら異文化への理解を深め、コミュニケーション能力や国際性を身に付ける絶好の機会となります。

## アートセンター・カレッジ・オブ・デザイン



<http://www.artcenter.edu>

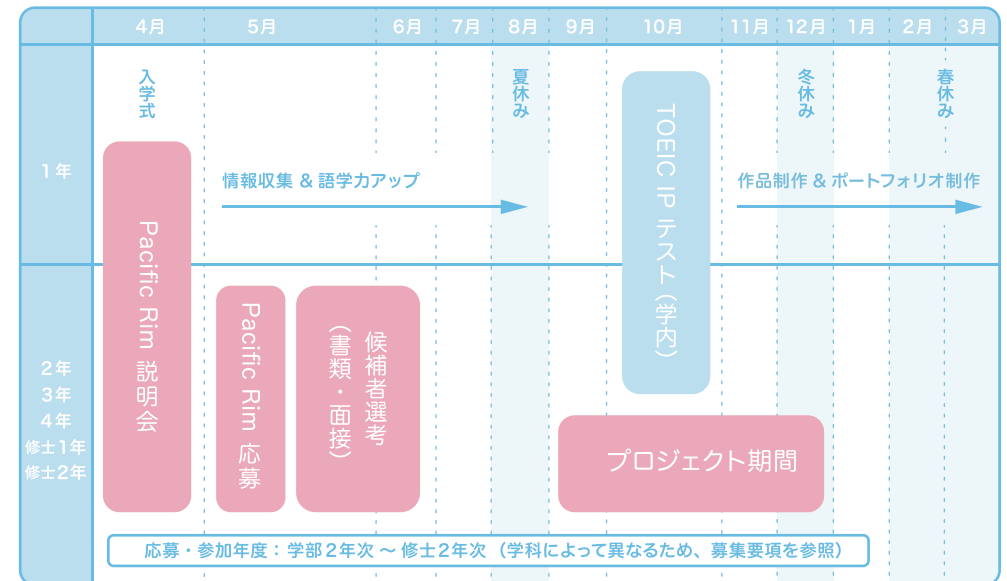
高級住宅地のカリフォルニア州バサデナに位置し、全米屈指の美大として名を馳せています。産業界との結びつきが強く、アーティストやデザイナーへ現実的なスキル

を教えるという使命のもとに設立されました。多くの卒業生が各界でデザイナーとして活躍しています。

Pacific Rimのプロジェクト期間中には、特別カリキュラムが用意され、研究テーマに関連した企業やアーティストによる特別講義、日本・アメリカ文化を学ぶ授業、ストーリーの組み立て方やプレゼンテーションの訓練をする授業、Rhinocerosという3Dソフトウェアやレンダリングソフト(Twin motion)を学ぶサポート授業が用意されているので、文化体験だけではなく、デザインの技術も学べます。過去に行われた本プロジェクトで学生たちが制作した作品のいくつかは、IDEAやiFといった世界的コンペティションで受賞するほど、非常に高い成果を挙げています。

## 入学からプロジェクト開始までの流れ

詳細は募集要項を確認してください。



## Pacific Rimをもっとよく知ろう!

TAMABI NEWSの特集記事 (P6-9)

<https://www.tamabi.ac.jp/pro/tmbn/no-89/html5.html#page=6>



Pacific Rim プロジェクト

[https://www2.tamabi.ac.jp/pacific\\_rim/](https://www2.tamabi.ac.jp/pacific_rim/)



# Pacific Rim 体験記

アートセンターの学生たちと協働で制作を行うことが特徴の Pacific Rim。それぞれのステージを経験した先輩たちに実際の様子を聞いてみました。

## JAPANステージ：開催地 多摩美術大学

### 山内 綾玲

プロダクトデザイン専攻 卒業  
Pacific Rim



#### チームメイトの制作の姿勢が、 新たな個性発見のきっかけに。

アートセンターの教授達が、私の興味のある分野の教鞭をとられていたこともあり、2022年度の Pacific Rim に参加しました。アメリカからやって来た学生達や、他学科の多摩美生達、異なる環境で育った仲間に出会った3カ月はとても濃い時間となりました。他の学生達の自分の興味への好奇心の向け方や表現する力は、私の制作に対する姿勢に大きな影響を与えただけでなく、今まで自分では気がつくことのできなかった自分の個性を発見させてくれました。語学面では、チーム制作を進める中で自分の意見が正しく伝えられなく、難しさを感じることも多々ありました。しかし、そんな時お互いにしっかりと会話をし続けたことで、良きチームメイトを得ることができました。少しでも Pacific Rim に興味があるならば、ぜひ挑戦してみてください。楽しいばかりではありません。しかし、心から充実したと思える経験が待っていると思います。



最終プレゼンテーションの様子

### 周 小園

彫刻学科 卒業  
Pacific Rim



#### デザインの奥深さを知り、自身の 制作方針を省みる機会になった。



最終プレゼンテーションの様子

私は常々、彫刻やプロダクトデザインには多くの可能性が隠れていると考えており、それらを追究するために Pacific Rim に参加しました。2022年度のプロジェクトテーマである「Ceramic Future」のデザイン思考は、私の制作スタンスに大きな影響を与えました。約2週間のフィールドワークを含む多忙な3か月を通し、ファインアート領域の学生として、デザインの奥深さを学ぶとともに、自分の制作方針について振り返ることができました。珍しい素材に触れることができたのも良い経験となりました。多様な素材を利用し、環境およびエネルギーの問題について再考する作品を作ることが今の私の目標です。

また、デザイン領域に対する興味関心が高まり、さらに多くの分野を開拓していきたいと感じるようになりました。このように、ファインアート領域の学生でも、Pacific Rim に挑戦することには大きな意味があります。

## AMERICAステージ：開催地 アートセンター・カレッジ・オブ・デザイン

### 大島 宏士郎

グラフィックデザイン学科  
Pacific Rim



#### 他学生との交流が、将来の選択 を広げる貴重な財産に。

Pacific Rim に参加し、いかにこのプロジェクトが貴重なものだったのかを実感しました。海外大学での制作は、視野を間違いなく広げてくれる経験です。デザインのアウトプットや考え方の違いなど、学科の違う学生とコミュニケーションを通して知る内容は、将来の選択肢を広げてくれるものだと感じました。私の専攻はグラフィックデザインのため、今まで1人での制作が中心でした。しかし、他専攻の学生との共同制作を通じ、意見が異なりぶつかりながらも制作する日々はとても刺激的でした。なによりこのプロジェクトを通じて得た仲間が財産になりました。制作以外にも、アメリカでの生活もとても貴重な経験でした。アートセンターのあるパサデナという街も、メキシコからの移民が多く住む地域であり、観光に行く地域とは違う、アメリカのリアルを経験できました。グループでの制作と生活、どの記憶を切り取ってもこの3ヶ月間は特別でした。



アートセンターの学生たちとのミーティング

### 海津 綾花

統合デザイン学科  
Pacific Rim



#### 自分を振り返り、 将来を考える経験になった。



アートセンターの学生との共同制作風景

Pacific Rim は、自分の経験を振り返り、将来を考えるいい経験になりました。参加を決めた理由は、大学在学中の留学が目標の一つであり、また、テーマが自分の興味に合致していたからです。このプロジェクトは日本から参加する仲間がいるため、初めての留学として最適でした。渡航前には、会話の練習に力を入れて英語を学びました。上野毛には国際交流センターがないため、まずは八王子に連絡をし、学習方法やスピーキングの練習相手を紹介していただきました。

私たちのグループは、学生がストレスから逃れてリセットできる空間をデザインしました。現地で学んだ3Dモデリングの技術や空間の考え方を、今後の制作や展示計画を立てる際に活用していきたいです。Pacific Rim に参加した際は、ぜひ他の学生とたくさん話し、行ったことのない場所に行き、初めての体験をたくさんしてください。



# 私費留学

大学の留学制度を使用しない留学方法を「私費留学」と呼びます。留学先を自由に選択することができ、留学期間も自分で決めることができます。留学にかかる全ての費用が自己負担となりますが、自由度が高いのが特徴です。自由度が高いからこそ、多種多様な目的の留学に当てはまります。語学力向上のための人もいれば、新しい学問を学ぶための人もいます。何のために留学をするのか目的をはっきりさせておくことが重要です。

私費留学に挑戦することが決まったら、留学先の学校選び、滞在先の確保、パスポートやビザの取得など準備すべきことはたくさんあります。また、現地学校で受講した授業を本学の単位として認定することができないので、休学申請が必要になる場合もあります(休暇を利用した短期留学は、休学の必要はありません)。

## 語学学校を持つ大学

### スインバン工科大学

Swinburne University of Technology

オーストラリア (メルボルン)

<https://www.swinburne.edu.au/>



#### プログラム概要

#### English Language Intensive Course for Overseas Students (ELICOS)

この語学プログラムには2つのコースがあり、実力や目的に合わせて自分で選ぶことができます。1年を通して受講できるタイミングが多くあるため、スケジュールが組みやすいこともメリットです。

#### General English & English for Academic Purposes

- 時間割：月～金 (週25時間 + e-Learning 5時間含む)
- 授業料：A\$480/1週間 (最短5週間より申請可能)
- スケジュール：申請時に要確認

#### General Englishコース

英語を「読む、書く、話す、聞く」能力を集中的に養うことができます。レベルも3段階に分かれており、英語初級者でも安心して受講することができます。語学要件は特にありません。

#### English for Academic Purposesコース

大学教育レベルの英語力を修得することが目的となっており、内容もより高度になります。アカデミックなレポートの書き方やプレゼンテーションの方法などを学ぶことができます。こちらもレベルが3段階に分かれています。受講するためには一定の英語力が必要になります。

大学付属の語学学校は、大学が運営する語学学習を専門とした教育機関です。その大学の雰囲気味わいながら語学学習に打ち込むことができます。

### サイモン・フレーザー大学

Simon Fraser University

カナダ (バンクーバー)

<https://www.sfu.ca/elc>



#### プログラム概要

#### Full-time Immersion Programs

サイモン・フレーザー大学付属語学学校のFull-time Immersion Programsは総合的な英語力向上を目指すプログラムで、アカデミック英語だけでなく、日常英会話も含めた語学学習に力を入れているのが特徴です。8週間のコースと4週間のコースがあります。

#### 8-week Program with Specialization

- 時間割：月～金 (週27時間)
- 授業料：\$3,550 (8週間)
- スケジュール：
  - (2024) 2/27～4/19、4/29～6/21、7/2～8/23、9/3～10/25、10/29～12/20
  - (2025) 1/6～2/28、3/4～4/25

#### 4-week Program with Academic Field Work

- 時間割：月～金 (週27時間)
- 授業料：\$1,900(4週間)
- スケジュール：
  - (2024) 7/2～7/26、8/6～8/30
  - (2025) 1/6～1/31、2/3～2/28、3/3～3/28

※ 各大学の授業料、スケジュール等は2024年1月時点のものです。

# 私費留学 体験記

大学のサポートがある交換留学などとは違い、全て自分の判断で決める必要がある「私費留学」。それだけ自由度も高いということだけど...。実際はどのような留学生活なのでしょう。



## 加藤 理子

芸術学科 卒業  
私費留学：プラット・インスティテュート

エディターになる夢を実現させるため  
ニューヨークでしかできない体験をする。



## 自分に足りないものは何かと考えるプログラムを選びました

ニューヨークのプラット・インスティテュートという芸術系大学に留学しました。私の場合は、大学3年次終了後、1年間休学をして、私費留学をする道を選びました。受講したのは、「ファッション・ニューメディア」というサーティフィケート・プログラムです。これは、ファッションブランドやクリエイティブな組織をどのようにブランディングし、アウトプットしていくか...などをテーマに、幅広い科目を履修できる課程で、修了すると認定証がもらえます。

幼い頃からファッション好きだった私は、学業の傍ら、デザインした服の販売や雑誌編集部でアシスタントなど、多様な活動に取り組んできました。その中で、「つくる側ではなく、その魅力を発信する立場になりたい」という志

を持ったのが留学に行くきっかけでした。そして、この夢を実現するために自分に足りないものは何かと考える、今回のプログラムを選びました。履修する科目群は、まさに将来に直結するものばかりでした。授業では、Adobe系のグラフィックソフトを使った雑誌づくり、撮影テクニック、ブランドコンテンツづくりなどのほか、デジタルマーケティングやコンシューマーリサーチ（消費者調査）なども学ぶことができます。デザインやファッションだけでなく、ビジネス寄りの科目が多いのがこのプログラムの魅力だと思います。受講生は留学生も多く、カナダ、フランス、イタリア、コロンビア、タイ、中国、韓国など世界中からやってきた学生と交流ができます。ファーストキャリアを積んだ後、転職やキャリアアップのために通っている社会人や学生も多く、その意識の高さからも刺激を受ける日々でした。

私にとって、ニューヨークという街は、高校時代から特別な場所でした。高校2年次に家族とニューヨークを訪れた際、メトロポリタン美術館で、「CAMP」というファッション系の企画展を見て、衝撃を受けたのです。そのスケールや世界観は、日本では味わったことのないものでした。「ここに行けば心を動かされる瞬間がある、ニューヨークに行けば夢や目標に近づける」心のどこかでそんな思いを持つようになっていました。留学でニューヨークに来てすぐの2022年2月に、ブルックリン美術館でクリスチャン・ディオールの展示を見て、「やっぱりこれだ!」と確信しました。この心を動かされる体験は、ニューヨークでしか味わえないものだと思っています。



クリスチャン・ディオールの展示

## なぜその国を選ぶのか どんな人に会って、何をしたいのか

ニューヨーク留学中にこうした世界観をよりダイレクトに感じるために「ニューヨークファッションウィーク 2022」のアジアファッションコレクションのお手伝いも経験しました。PRのボランティアスタッフとして、バックヤードに入り、コロナ禍で来場できなくなったデザイナーさんの代わりにフィッティングなどを行いました。キラキラしたファッション業界の裏側で、地道な仕事を学びながら、ショーに関わる多くの人のパッションに触れられたのは貴重な経験になりました。

語学に関しては、留学に行くまで長い期間があったため、いわゆる英語熟に入り「英語に触れる環境づくり」からスタートしました。しかし、ある程度の語学力は必要ですが、それを得た後は「どのような留学にしたいか」を考えることが重要であると個人的に思います。もちろん学業も大事ですが、留学先で会う人、異なる文化や価値観にたくさん触れることは間違いなく自分を成長させます。なぜその国なのか、どんな人に会って何をしたいかじっくり考えてみてください。実際、私は、現地のファッションショーでのアシスタントや渡米前から関心があった会社でのインターンなど、最高の経験をしました。今は、NYで出会った人々に再会できるよう、留学で吸収したスキルのブラッシュアップに努めています。



ニューヨークファッションウィークでアシスタントを務めた際の1枚



ニューヨーク、ヤンキースタジアムにて

# 留学実現のための5STEP!

留学を実現するためにはどのような準備が必要なのか。  
海外大学院留学中の先輩が語る、留学前に取り組んでおくべきステップ。



留学の準備はほとんどの人が初心者。『何もわからない』からスタートするのが普通です。準備は大変ですが、1ステップずつ確実に進んでいきましょう！

## 三井 悠華

日本画専攻 卒業  
大学院進学：国立台湾芸術大学



### PORTFOLIO

多摩美アカウントでログインすると  
ポートフォリオ全体を閲覧できます。

## STEP 1 ธีมを見つける

### 海外のどこで、何を学びたいのか 自分のイメージを整理する

私の場合、大学1年次から「本場で水墨画の真髄を学びたい」という目的が明確にありました。留学先の国立台湾芸術大学のことは高校時代から知っていて、多摩美術大学に進学した理由もここが交換留学の提携先だったからです。

また、希望の留学先が全くない状態でも、『何を学びたいか』『どの国にいきたいか』『誰に学びたいか』『留学後にどんな自分になっていたか』などのキーワードから少しずつ留学のイメージを固めていくこともできます。

## STEP 2 情報収集

### 国際交流センターに通って 自分の留学に必要なものを調べる

もともと在学中の交換留学を目指していたこともあり、留学の申請には何が必要なのか知るため、国際交流センターで情報収集をしました。ここで成績や語学力に加え、ポートフォリオが必要なことを知りました。

### POINT!

#### 国際交流パーティーに行こう!

この時期に、国際交流センターが年に2回主催する『国際交流パーティー』に行ってみましょう！様々な国から多摩美に留学しに来ている交換留学生たちと話すことで留学のイメージが固めることもあります。そこで友達ができれば、語学面のサポートをし合う関係になることも。

## STEP 3 語学の習得

### 留学には一定の語学力が不可欠 必要なスコアを目指して勉強!

海外の大学に留学するためには、留学先に合わせた一定の語学力が必要になります。これがなければ何も始まりません。私は大学3年次までに中国語検定HSK4級を取得し、その後も定期的にHSKを受検しました。英語圏であればTOEFLやIELTSが検定として一般的です。

### POINT!

#### 語学学習はできるだけ早くスタートを!

『いつかは留学をしたいな...』と思っているあなた。今日から勉強を始めましょう。語学学習は早く始めるにこそしたことはありません。スキルは十分なのに、語学能力が足りず留学できない、ということだけにはならないように...! まずは単語の勉強から始めましょう!

## STEP 4 ポートフォリオ制作

### 指定されたフォーマットで在学中の作品を最大限アピール

多くの美術系大学の出願には、規定のポートフォリオ提出が必要になります。私の場合、大学4年次の卒業制作を完成させ発表をした後、2月から一気にポートフォリオを作成し、3月に台湾の大学に国際便で郵送しました。

ポートフォリオはAdobe Illustratorを使って作成しました。作品が際立つように、できるだけシンプルなレイアウトを心がけたことがポイントです。提出先に合わせて、英語や中国語の作品解説も必要になります。



三井さんのポートフォリオ

## STEP 5 必要書類の提出

### 出願の大詰め! 成績証明書、 研究計画書、語学証明書などの提出

大学の出願にあたっては、ポートフォリオ以外にも成績証明書、大学教員からの推薦書、語学テストのスコア、研究計画書などの提出が必要です。書類審査通過後、面接を受け、合格ならビザ取得という流れになります。



# 留学実現のための

## ポートフォリオ制作

ただでさえ難しいポートフォリオ制作。それを英語で、となると…。(汗) 基本的なポートフォリオのまとめ方、英語ならではの気を付けるポイントなどをみてみましょう。



ポートフォリオ制作では、撮影、全体の構成やレイアウト、製本、英文の校正など考えることが盛りだくさん。ここでは最低限気をつけたいポイントについて紹介します。

### 倉本 大豪

大学院デザイン専攻 修了  
大学院進学：オスロ国立芸術大学



### PORTFOLIO

多摩美アカウントでログインすると  
ポートフォリオ全体を閲覧できます。

## POINT 1

### “大学用”のポートフォリオ作りを

みなさんが制作するのは、就活用ポートフォリオではなく、大学に提出する言わば“大学進学用”ポートフォリオです。なので『どんな研究してきたのか』『これからどんな研究をしていくのか』がとても重要になります。僕の場合は『研究内容ベース』で作品を配置し、目次や見出しを使って、研究内容を簡潔に伝えることを心がけました。

## POINT 3

### 作品撮影のクオリティは超重要

『長文は読まれない』という話をしましたが、ではポートフォリオを見る人はどこを一番見ているのでしょうか。そう、『作品写真（画像）』です。パラパラと読み飛ばされても写真だけは確実に目に入ります。なので言わずもがな作品写真のクオリティはポートフォリオの完成度に直結します。作品に立体物がある場合は時間をかけて撮影しましょう。

## POINT 2

### 『読まれない』ことを前提に構成する

残念ながらポートフォリオの中の長い文章はほとんど読まれません。溢れんばかりの熱意で長文を書いたとしても、たくさんの受験者のポートフォリオを見ないといけない大学教授たちには読み飛ばされてしまいます。なので、文章を簡潔にすることはもちろん、『最低限どの文字を読ませたいのか』を考えてレイアウトすることはとても重要です。

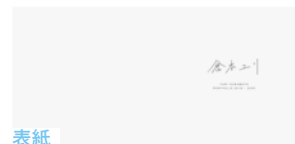
## POINT 4

### 文字情報のサイズ調整は丁寧に

レイアウトでは、文字のサイズとテキストの情報量には注意しましょう。冊子のサイズに対して文字が大きすぎて作品の邪魔をしているポートフォリオや、気持ちが文字に溢れすぎて作品がパッと目に入らないポートフォリオをよく見ます。しかし、文字の調整を適切に行うだけで綺麗に見せることができます。ちなみに、英文の扱いは和文より相当楽です。

## ポートフォリオ全体の流れ

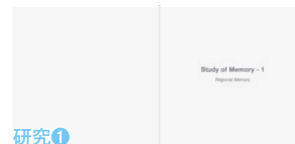
表紙



研究目次



研究①



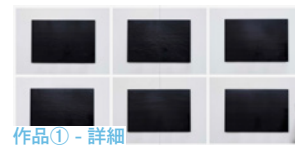
作品① - 導入



作品① - メインページ



作品① - 詳細



作品① - 展開



作品① - 展開



作品① - 制作背景



作品① - 制作背景



作品② - 導入



作品② - メインページ



作品② - 詳細



作品② - 詳細



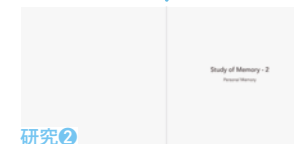
作品② - 制作背景



作品② - 制作背景



研究②



作品① - メインページ



作品① - 詳細



作品① - 制作背景



作品② - メインページ



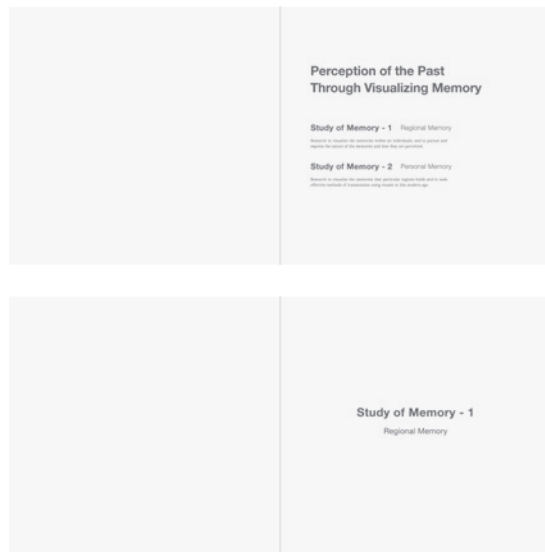
作品③ - メインページ



自己紹介







### 目次や見出しをうまく使う

目次や見出しをうまく使うことによって『制作のテーマ』や『どんな流れで研究や制作が進んできたか』を簡潔に伝えることができます。また、目次や見出しは文字情報の中でも目につきやすい部分なので、しっかりと整理して活用するのがベターです。



### 作品紹介は簡潔に

作品紹介、特に各作品ページの冒頭1ページ目は『とにかくシンプルに、分かりやすく』構成することをオススメします。冒頭のページではメインの写真1~2枚と作品名、そして簡単な説明のみで十分です。他にも伝えたいことがある場合は続く2、3ページ目で伝えていくのが良いでしょう。ここでも、写真の大きさ、文字のサイズや量によって見る人に与える印象は大きく変わってきます。

また、レイアウトフォーマットをあらかじめ決めておき、そこに文字を当てはめていく方法も簡潔なレイアウトのポートフォリオ作りには有効です。



### スケッチなどの制作背景も効果的

制作中に描いていたスケッチやメモも掲載しています。作品のコンセプトを文章で見せるだけではなく、制作を進めた際のアイディアスケッチや展示計画のイメージを掲載することで思考力や計画性を見せることができます。

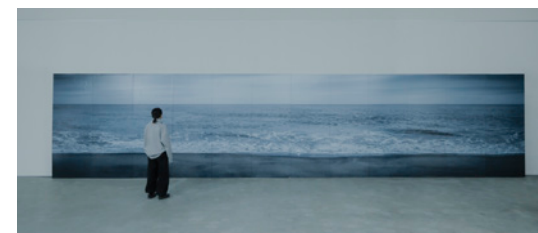


### 文字情報の整理をする

『文字情報の整理』とは、簡単にいうと『文章の重要度のランク付け』をすることです。

たとえば、左のページでは文字情報を重要度によって3つの大きさに分けています。重要度1の文字は『絶対に伝えたい情報』、重要度3の文章は『最悪読まなくても作品の理解には支障のないもの』です。

ポートフォリオを見る人が、どの情報を読んでいけばスムーズに内容が伝わるのかを常に考えながらレイアウトをしてみましょう。



### 作品撮影を丁寧に

写真はポートフォリオの命です。写真の完成度が上がるだけで、ポートフォリオの完成度はグッと上がります。逆に作品が良くても写真が悪いと作品自体も悪く見えてしまいます。

撮影は難しいですが、撮影の際はとにかく「作品に無駄な要素を省く」と「綺麗な光を用意する」ことが良い写真を撮るポイントです。作品の大きさを視覚的に伝えるために人や手を写真の中に入れるテクニックも効果的です。

学内写真スタジオも利用可能ですので魅力的な写真撮影に挑みましょう。

\*スタジオは予約制です

### 英文の校正が終わるまで気を抜かず...

海外留学用のポートフォリオで最も重要であり、最も厄介な要素があります。そう、『外国語で文章を書かないといけない』ということです。多くの人は日本語のポートフォリオを作ったあと、それを翻訳していきと思います。しかし、間違った翻訳をしてしまうと、作品が間違った解釈をされ

てしまったり、せっかく頭を悩ませて考えた文章が幼稚な文章になってしまったりします。翻訳を一通り行ったら、可能であればネイティブに文章の添削をしてもらいましょう。僕はオンライン英会話の講師に授業そっちのけで英文の添削をしてもらいました。

# 留学実現のための

語学力UP!  
in 多摩美

留学の必須項目であり最大の壁「語学力」。身近で学べるところはないのだろうか...  
... あります、多摩美に！英語の授業と語学検定を中心に紹介します。

## 目的に応じた多摩美の語学カリキュラム

### Portfolio Writing

アートやデザインを学ぶ学生にとって、英語力は活躍の場を広げる武器。リベラルアーツセンターには目的別の幅広い英語の授業が揃っているので、将来のビジョンに合わせて履修が組めます。たとえば『Portfolio Writing』では、ポートフォリオで使える単語や文章の型を学び、実際にポートフォリオを作成。海外に向けて発表できるレベルまで、“使える”英語力を練り上げます。



荒木慎也先生によるPortfolio Writingの授業

### English in Art & Design I

『English in Art & Design I』はその名の通り、美術・デザインで使われる英語を学ぶ授業です。前期は作品描写や分析、後期は美術・デザインに関連する様々なテーマについて議論することを英語で挑戦します。しかし、専門的な語彙よりも日常でも使える英語表現に重きを置き、そして課題や演習で提示されたお題を基に、履修生は自主的に英語を学んでいきます。英語を介して様々な学科の学生がそれぞれの知・美的好奇心を共有できる稀な場です。



常石憲彦先生によるEnglish in Art & Design Iの授業



将来のビジョンに向け、4年間で計画的に英語力を磨いてほしいと思います。悩んだらリベラルアーツセンターの英語相談窓口へ！

**高梨 美穂 教授**  
リベラルアーツセンター

# 語学能力試験

語学能力検定試験の一例です。  
希望する留学先の語学能力条件を確認して、計画的に準備をしましょう。

## IELTS

International English Language Testing System (IELTS: アイエルツ) は、海外留学や研修のために英語力を証明する必要がある方、およびイギリス、オーストラリア、カナダなどへの海外移住申請に最適なテストです。

イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほぼ全ての高等教育機関で認められており、アメリカでもTOEFLに代わる試験として入学審査の際に採用する教育機関が3,000を超え、英語力証明のグローバルスタンダードテストとして世界中で受験者が増え続けています。

## TOEFL®

TOEFL®テスト (Test of English as a Foreign Language) は、大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に測定します。

TOEFLテストは世界中の英語検定テストの中で、幅広い国々で受け入れられているテストです。アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダのほぼ全ての大学をはじめとした、150か国、10,000以上の機関がTOEFLテストスコアを英語能力の証明、入学、奨学金、卒業の基準として利用しています。日本では教育機関等での学内単位認定や、入試優遇、海外派遣選考の目安として利用されています。

## TOEIC

一般的にTOEICと言われているテストは、TOEIC Listening & Reading Testを指します。このテストでは、ビジネスや日常生活における英語のコミュニケーション能力を測ります。基本的に、海外大学の受験をする際にTOEICのスコアを利用することはできないので、注意が必要です。しかし、日本国内における就職活動をする際には、今でも多くの学生たちに利用されています。また、多摩美術大学の国際交流プログラムの学内選考では、TOEICスコアを受け付けています。

### TOEFL iBTおよびIELTS Academic 受験料の補助

- 国際交流センターでは、留学希望者のニーズに応えるため、2022年度よりTOEFL iBTまたはIELTS Academicを受験する学生に対し、受験料10,000円を補助しています。年度内に1人1回限り、先着15名の予定です。  
※詳細は、大学ホームページをご確認ください。
- また、検定試験の過去問題集や語学学習に関連した本の貸し出しを行なっています。こちらもぜひ活用してください。

## 卒業後の留学 ①

## 海外大学院

## 体験記

多摩美の学部を卒業した後も、留学の選択肢はたくさんあります。そのひとつが「海外大学院」。さらに高いレベルの制作や研究を海外で行うことには様々なメリットがあります。



## 三井 悠華

日本画専攻 卒業  
大学院進学：国立台湾芸術大学

日本にはない水墨の技術を学ぶため  
卒業後、台湾の大学院へ。周りのサポートのおかげで大変な  
大学院生活を乗り越えられた。

私は子供の頃から家の仕事環境もあって中国の書道や水墨画に関心を持っていました。日本画は高校入学時から始めましたが、在学中に台湾の女流画家の水墨画に出会い、水墨の技法には日本画とは違う魅力があると強く感じました。私が思うに、水墨の魅力には二点あります。

第一に、杜甫の詩にあるように、「元氣淋漓障尤濕墨」なる技法、つまり、滲み、染め、量感などの表現は日本画にはあまりない表現です。第二に、線の使い方の多様性です。水墨画の筆の軽さ、重さ、緊張感、優美さの表現は、「書画は同源」という説を最もよく証明するもので、これも日本画には見られない特徴だと思います。

筆法、墨法、さらには彩色法の相互作用から生まれる独特のスタイルこそ、まさに私が水墨画に憧れる理由です。

多摩美で更に4年間日本画を学びましたが、水墨の技術を本格的に学べる場所は、国立台湾芸術大学だと強く思い、大学院（研究所）に進学しました。実際に現地に赴き分かったことは、大学生と大学院生とでは授業内容にかなりの違いがあるということです。大学生は実技の授業が多く、先生が目の前で水墨画の基本を教えてくださいました。大学院生ともなると、実技はなく（実技の授業に参加する事はできる）ほとんどがプレゼン形式の授業となります。

私は実技をほとんど勉強したくて留学したのですが、現実にはプレゼン三昧の日々となりました。1年目ということもあって、授業の内容もハッキリしないまま履修を欲張り

すぎていたのです。自身の中国語レベルの問題もあり、一時は心が折れそうにもなりました。しかし、日本語が話せる先生方や優しい同学の皆さんのサポートがあったお陰で、なんとかこなすことができました。今にして思えばプレゼンは語学の上達を早め、発表することになれる絶好の場でした。大学院2年目からは無理なく進めたかったので、授業履修を減らし自分の作品を制作しながら、実技の課題をこなしています。私の大学の修士号取得

条件は、20作品が展示された個展と論文提出、論文発表が必須です。その制作や論文準備にはかなりの時間を要し、現地の学生さんでも2年での修了はなかなかできないようで、一般的には平均3年かかるそうです。



外での写生授業の様子

半年、1年と過ごしているうちに『台湾』  
を意識することさえ少なくなった。

国立台湾芸術大学の学生は、水墨画だけでなく周辺芸術の篆刻や篆書も学んでいて、「書画篆刻みな同源」のような幅広い芸術領域を学べる良い環境だなどつくづく思います。教授と学生との距離感も近く、先生の家でご飯を食べたり、芸術談義をしたりと実に有意義で楽しい時間を過ごしています。また、日本留学の経験がある先生も多く、台湾の学生も日本に留学希望者が思いの外多い印象で、日本と台湾は親密だと大学院にいな

感するところです。

他国で生活してみると、慣れれば何という事もないと思えることが多く、半年、1年と過ごしているうちに、台湾を意識することさえ少なくなり、どんどん馴染んできます。台湾は日本に似ている風景も多く、時には恋しくなると校舎の屋上に行き日本と変わらない風景を見ながらホッとする日もありました。留学を悩んでいる方、行って見て合わなかったら帰ろう・・・でも良いと思います。来てみれば、海外での新しい経験や、異文化に興味津々、留学生生活がワクワクになること間違いなしです。

## 卒業後の留学 ②

## アーティスト・イン・レジデンス 体験記

大学卒業後の進路には、「作家として」海外に滞在する方法もあります。それがアーティスト・イン・レジデンス。聞き馴染みのない人も多はず。レジデンス経験者であるムーニー准教授にお話を聞きました。



## ムーニー・スザンヌ

大学院美術研究科 准教授  
アーティストインレジデンス

日常生活から離れ、創作活動に専念  
できる環境に身を置く特別な時間。



## アーティスト・イン・レジデンス (AIR) とは?

アーティスト・イン・レジデンスとは、アーティストを国内外から一定期間招聘し、生活や制作活動を支援するプログラムです。滞在中のアーティストへの支援は多岐にわたり、スタジオの提供、展示会やイベントの実施等が含まれることもあれば、研究や地域コミュニティとの交流に焦点が当てられることもあります。アーティストの日常生活が妨げられることなく、制作活動に集中することを可能にします。AIRプログラムの受入機関は、文化施設、大学、ギャラリー、コミュニティスペース、さらには個人宅など、様々です。成功したアーティストではなくても、応募することが可能です。

私は、2000年代初頭に修士課程を修了した後、アイルランド、スペイン、韓国、アイスランド、日本でいくつかのレジデンスに参加しました。いずれもユニークで充実した経験でした。レジデンスの期間は、住居型プログラムで2週間から4か月、非住居型なスタジオ・レジデンスは6年にわたるものまで様々でした。

## AIRの探し方

AIRプログラムを知る方法はいくつかあります。恐らく最も簡単な方法は、オンライン・データベースや公募告知を通じて情報を得ることです。TransArtistsは、世界中の1,500以上のAIRプログラムを網羅した包括的なデータベースを提供しています。Res Artisは、検証済みのAIRプログラムからなるネットワークです。また、地域ごとにAIR\_J (日本)、Berlin Art Link (ドイツ) のようなリソースも存在します。すべてのAIRプログラムが公募方式ではなく、中には管理者やキュレーターによってキュレーションされているものもありますが、これはデータベース上で明記されています。

オンラインリソースに加え、ロコミはとても大切で、他の人がこれらのプログラムでどんな経験をしたかを知る素晴らしい手段です。日本でアートコミュニティやネットワークを構築する過程で、日本のギャラリーやスタジオとの提携や交換プログラムを通じて、海外のレジデンスに参加する機会が見つかるかもしれません。

## 選び抜く

AIRプログラムはさまざまな種類があります。最初の課題は、自分に合ったAIRを見つけることです。応募する前に、どんなサポートを受けることができるのかを確認することが重要です。一部のプログラムは宿泊施設のみを提供し、スタジオは提供しない場合もあります。逆も然りです。費用が発生するプログラムもあれば、アーティストに報酬を支払うプログラムもあります。追加サポートには(ない事もありますが)、航空券、食事、材料費、展示スペース、展示サポート、企画された文化活動、ネットワーキングサポート、技術サポート、翻訳サポート、カタログ出版などが含まれる場合もあります。一方、滞在中にアーティストに期待されることもあります。たとえば、講演、無報酬のワークショップ、地域活動への参加、公共アウトリーチプログラムへの参加、報告書の作成、オープンスタジオ訪問の可否、作品寄贈の要請、費用の支払いなどです。

## 十分な準備を

AIRプログラムの魅力の一つは、未知の領域に飛び込むことです。ただし、限られた時間の中で、機会を最大限に活かしたいのであれば、事前の準備が役立ちます。

一般的に、国際的なAIRプログラムでは、アーティスト間の共通言語は英語です。留学とは異なり、英語で授業やレポート提出の必要はありません。日常会話に慣れていて、自分の作品について英語で話せるならば十分です。ただし、一部のAIRプログラムでは講演やプレゼンテーションが必要なものもあります。また、実践活動として研究や地域コミュニティとの交流が必要な場合もあるため、滞在中に、あなたが求められている活動が出来るのかを自分で判断する必要があります。その他、特に数ヶ月以上滞在中の場合は、ビザの必要要件の確認や、保険加入などの実用的な準備も必要です。

## メリット

## ① 時間とスペース

大学での時間は特別なものです。まだ気づいていないかもしれませんが、時間が経つにつれて責任や気が散ること、様々な制約が増えていきます。AIRプログラムは、日常生活の忙しさから離れ、アート制作に専念できる時間と場所を確保することができます。

## ② コミュニティとプロフェッショナルネットワーク

AIRプログラムは多くのアーティストが参加することで、強いコミュニティを構築することが出来ます。さらに、異なる国や背景を持つアーティストやアートの専門家と出会うことが可能です。将来のために自分自身のグローバルネットワークを築ける可能性があります。

## ③ 文化交流

AIRプログラムは異文化に浸る素晴らしい方法です。また滞在中は、あなたは自国の大使になりえます。滞在中に多くを経験し学ぶことに加え、国際的なAIRプログラムは文化のつぼみです。レジデント仲間から多くを学び、情報交換ができるでしょう。

## ④ クリエイティブなアウトプット

提供されるサポートによっては、通常では不可能な作品の創作を容易にします。たとえば、サイトスペシフィックな作品、専門の展示施設、大規模なインスタレーションのための資金を提供することもあります。

## 学生に対するアドバイス

AIRプログラムに応募を考えている学生に向けてのアドバイスは、今利用可能なリソースを最大限に活用することです。必要であれば追加で語学クラスを受講することや、本学で行われている国際的なプロジェクトへの参加、また海外から訪れる学生や教員との交流を大切にしましょう。その際の会話が将来どのように繋がるかは分からないものです。

## 卒業後の留学 ③ ワーキングホリデー 体験記

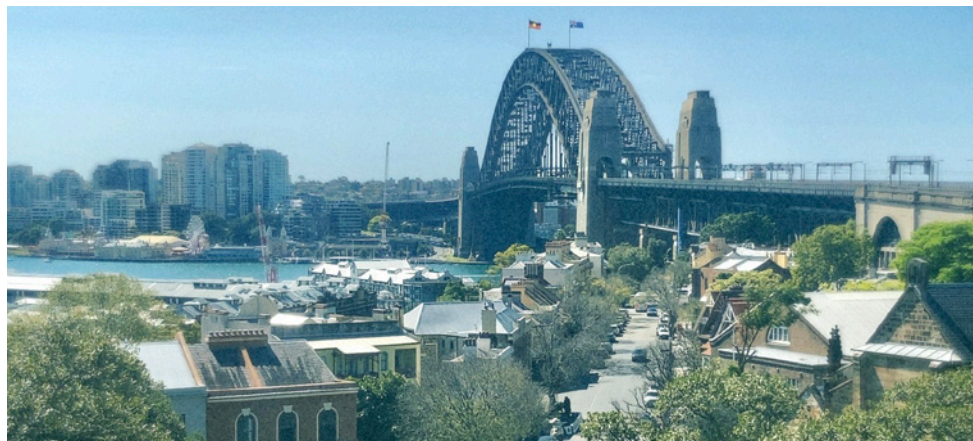
多くの人が「聞いたことはあるけど一体なんなんだ?」と頭にハテナが浮かぶと思います。現在ワーホリでオーストラリアに滞在中の佐々木さんに、その魅力をわかりやすく教えていただきました。



### 佐々木 太一

工芸学科 卒業  
ワーキングホリデー：オーストラリア

『働きながら海外を楽しめるワーホリ』  
の魅力に惹かれ、オーストラリアへ。



シドニーハーバーブリッジ

### ワーキングホリデーの実現にも 人それぞれの方法がある

2023年7月からオーストラリアにワーキングホリデーで来ています。多摩美術大学在学中には、国際交流プログラム「Pacific Rim」を通じてアメリカに留学したり、国際交流センターの主催するイベントに足を運んだり海外にとにかく興味がある学生でした。大学3年生の終わり頃、卒業後の進路を考えていたときに、特にこれと言ってやりたいことがなく、悶々とする日々を送っていました。そんな時、「海外で働きながら様々な経験を積める制度」のようなものがあつたことを思い出し、調べていくうちにそれがワーキングホリデーだと気付きました。コロナ渦で長く海外に行けていなかったため、「行ってみたい」という気持ちが強まりました。ありがたいことに両親には反対されることもなく、やりたいことをや

ってきなさいと言ってくれたので早々に就活はやめて卒業制作にはげみました。その頃はまだどの国に行きたいか決まっていなかったのですが、英語の勉強のために使っていたHello Talkというアプリで、同い年のオーストラリア人に出会ったことがきっかけとなり、オーストラリア渡航を決意しました。誰も知らないところでゼロから生活を始めるより、友人がいる場所なら生活の基盤が築きやすいと考えました。入国してから早5ヶ月が過ぎ、私は現在ハミルトン島という離島のレストランでキッチンスタッフとして働いています。最初の2ヶ月は友人のいるシドニーで生活をし、様々な観光スポットを案内してもらったり、毎週末に各地で開かれているマーケットに足を運んでみたり、Language Exchange Meet Upに参加してみたりと、充実した日々を送っていました。その後、貯金が減り始めたため、エージェントを通して仕事をゲットし、ハミルトン島に引っ越しました。



ハミルトン島の景色

私は大学を卒業後に就職をせず、新卒枠を捨ててオーストラリアに来ており、数年はこちらにいる予定です。日本に完全帰国する頃には新卒枠から外れてしまっていて、日本での就職がどうなるか全く想像もつきません。もし、「日本での社会経験なしに海外に行くのは不安。大学が忙しくて貯金もない……でもいつか行ってみたい」と感じている人は、一度日本で就職してしっかりお金を貯めて、準備万端の状態に挑戦することが良いと思います。

英語力に関しては、ある程度日常会話に困らないまでの力を身につけてからワーキングホリデーに挑戦する方が望ま

しいですが、オーストラリアに着いてから語学学校に行く人もたくさんいます。私の友人は、3ヶ月間セブの語学学校に行き、その後オーストラリアに入国していました。学費の安い語学学校を経由してワーキングホリデーに行くのもひとつの手です。ちなみに、ワーキングホリデーには年齢制限があるので注意が必要です。少しでも興味がある人は早めに行動をすることをオススメします。みなさんが充実したワーホリ生活を送れることを祈っています！

### オーストラリアでのワーキングホリデーについて

#### ●ワーキングホリデービザについて

ファームジョブやホスピタリティ（カフェ・レストラン）など、政府が指定する地域で働くことで2nd/3rd ワーキングホリデービザの取得可能。2nd/3rd ワーキングホリデービザにより、1~2年間の滞在延長が可能。最大3年間のオーストラリア滞実が実現。

#### ●労働条件

就労時間の制限はなく、時給は世界でもトップクラス。最低時給は\$23.23ドル（2023年時点）で、約2200円程度。土日や祝日は時給が1.25倍から最大2倍に増加。

#### ●経済的なメリット

ワーホリ準備等で使ったお金を働いて取り戻すことが可能。給料日が毎週（月4回）あるため、安定した収入が期待できる。

#### ●生活費と物価

家賃（週払い）や外食費は日本より高いが、シェアハウスやアジア系のスーパーを利用することでコストを抑えることができる。自炊をすることで生活費を節約し、滞在中に様々な経験を積む余裕がある。



# 国際交流センター

名前は聞けど、実際どんな場所か知っている人は意外と少ない国際交流センター。  
ここでできるのは留学相談だけではなく、どんなことができるのか、紹介していきます。



## 交流センターはこんなところ！

国際交流センターでは「なんとなく留学に興味がある」という学生に対し、なぜ海外で学びたいと思うのか、志望理由から一緒に考えます。また、留学用ビザの取得や在留カードの更新といった事務的な相談に加え、授業料や留学関連の奨学金の紹介、語学学習の支援などを学生目線でサポート。また、ときには留学や語学に限らず学生生活の相談にのることもあります。

誰でもウェルカム！  
スマホの充電だけでもOKです！

**摩庭 啓人**  
国際交流センター



## 留学カウンセリング

国際交流センターでは留学希望者に対して個別のカウンセリングを実施し、各学生の目的、予算、キャリアプランなどに合わせた提案やアドバイスを行っています。「留学ってなんだかカッコイイ」「将来的には海外で暮らしてみたい」となんとなく考えている人も、国際交流センター職員と話すことで、漠然としたものがカタチになっていくはず。対面のカウンセリングだけではなく、電話、メール、Zoomでも対応可能です。



## 最新留学情報をチェック！！

入口すぐの掲示では語学検定の検定料補助制度、学内外の国際交流イベント、留学説明会などの情報を掲載。受付横の棚には語学学習用の教材や『TIMES』などの英語雑誌が並び、貸出しを行っています。さらに学内の留学経験者による留学体験記とポートフォリオは誰でも閲覧可能で、ここでは紹介しきれない、よりリアルな情報に触れることができます。資料は上野毛のリベラルアーツセンターでも貸し出しています。



## 多摩美生のサードプレイスに



国際交流センターでは、留学・語学関係の相談に対して手厚くサポートしていて、学生一人ひとりの性質や考え方、語学レベルに合わせた丁寧な対応を心がけています。一方で、留学や語学学習に興味のない学生もふらっと立ち寄り、授業や学生生活のことを気軽に話せるような場所にしたいとも思っています。目指すのは、家でも教室でもない「多摩美生のサードプレイス」。オープンな空気でお迎えしていますので、ぜひ、一度のぞいてみてください。英語力ゼロでもウェルカムです！

# 国際交流センターの 語学サポート・イベント

## 国際交流センタースタッフによる語学コーチング



鍋島 柚葉  
油画専攻

コーチングを利用して英語の  
苦手意識がなくなりました。  
将来は学芸員になって、英語  
力を発揮したいです！

国際交流センターが実施するコーチングでは、担当職員が学生一人ひとりの目的や語学力に合わせて学習計画を立て、語学を教えています。留学を目指す学生はもちろん、外国語を使う仕事に就きたい、外国の画集を読みたいなど目的はさまざま。週に1度や2〜3週間に1度など、各学生のペースに合わせてスケジュールを組みます。

授業との違いは、基本的に1対1の指導であること。勉強の仕方がわからない学生には、まず単語を覚えるコツから指導が始まることも。もちろん、英語論文執筆など、ハイレベルな英語習得に挑戦したい学生も大歓迎。職員が熱意を持って指導してくれます。

## 学生同士のスピーキング練習

国際交流センターでは、各種相談を受けた学生の性格、興味関心、目標などのヒアリングを行っています。そして希望者に対しては、相性が良さそうな学生を紹介し、英会話練習相手のマッチングサポートを行います。

### 学生からのコメント

**井上:** 英語力向上を目的としたスピーキング練習相手を探していましたが、田中さんの存在はそれ以上のものとなりました。信頼できる友人ができたことが本当に嬉しいです。だからこそ、英会話練習も継続することができています。

**田中:** 国際交流センターを通じて仲良くなった井上先輩と、週に2〜3回英会話練習をしています。毎回楽しく英語を話すことができます。ここには沢山の学生が集まるので、相性ピッタリの勉強仲間が見つかると思います。



写真左：井上朱梨（環デ） 写真右：田中歌乃（油画）

## 国際交流パーティー



国際交流センターは、留学生と親睦を深めるためのパーティーを年2回開催しています。語学コーチング、スピーキング練習、留学の相談などで日頃から国際交流センターを活用している学生有志によって運営されています。八王子と上野毛の両キャンパスから100名を超える学生が参加し、軽食を取りながらゲームなどを楽しまします。

## 国際交流パーティー幹事たちからのひとこと



木ノ上 尚彌  
油画専攻

国際交流パーティーの幹事を2回担当しました。コンセプトとして誰でも楽しく留学生と気軽に話せる機会を設けられるようにしています。留学への興味関心はひとりひとり違うと思いますが、全ての人が楽しめる運営を目指しています。国際交流パーティーを通してその興味を後押しし、不安を乗り越えてもらえたら良いなと思っています。また、もし幹事をしたい人がいれば、ぜひ国際交流センターに相談してくれたら嬉しいです。



志田 明彦  
油画専攻 卒業

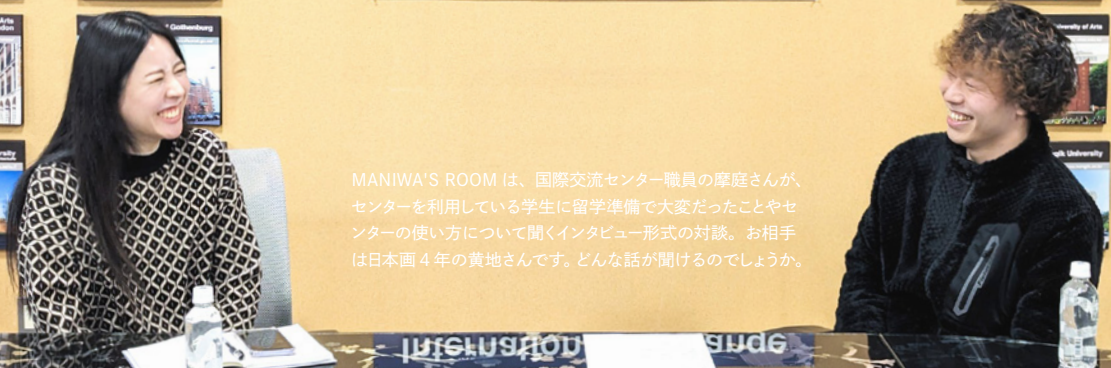
昨年10月にTAUホールで開催された国際交流パーティーでは、東学食堂さんに秋の味覚である焼き芋をはじめ、数々の美味しい料理を提供していただきました。また、テクノ研究会のDJの方も呼びし会場を盛り上げていただきました。様々な言語を使ったミニゲームも行われ、勝者には魅力的な景品が配られました。国際交流パーティーの醍醐味は、異なる文化的背景を持つ人々と共に食事し、会話を楽しむことだと感じています。ここでの出会いが、将来何か新しいことを共にするきっかけとなるかもしれません。そんな可能性を秘めた場所、それが国際交流パーティーです。



対談

## MANIWA'S ROOM

マニワさんの部屋



MANIWA'S ROOM は、国際交流センター職員の摩庭さんが、センターを利用している学生に留学準備で大変だったことやセンターの使い方について聞くインタビュー形式の対談。お相手は日本画4年の黄地さんです。どんな話が聞けるのでしょうか。



黄地 香の子さん

日本画専攻4年生。3年次にタイのシラバコーン大学への交換留学を経験した国際交流センターのヘビーユーザー。職員さんたちともかなり仲が良い。

摩庭さん

国際交流センターの職員さんで交換留学担当。軽めのノリと熱めの情熱で学生たちの留学をサポートしてくれる。多摩美の留学相談窓口といったらこの人。



## 国際交流センターは いろんな言語が聞こえてくるコミュニティ

**摩庭** 最初に国際交流センターに来てくれたのは、黄地さんが1年生の終わりの頃だったかな。それとも、2年生の最初の頃だった？

**黄地** 最初に摩庭さんを拝見したのは2年前期の交換留学説明会でした。今でも覚えています。留学制度の説明をする際のMCがすごく上手だったので、「ピーターパンみたいな人がいるな」と感じたのが摩庭さんのファーストインプレッションです。

**摩庭** 俺はトークで生きているから(笑)。一応、交換留学はもちろんだけど、海外に行きたいという気持ちがあった上で説明会に来てくれたの？

**黄地** そうですね。

**摩庭** 最終的には、タイのシラバコーン大学に交換留学したけど、記憶が正しければ、最初に留学を検討していた大学は、英語も使うことができるヨーロッパの大学だったよね。オランダのヘリット・リートフェルト・アカデミーだったかな。そのあと、すごく悩んでタイの大学に切り替えたけど、どうして気持ちが変わったの？

**黄地** 最初は英語を学ぶという目的が強かったことにくわえて、ヘリット・リートフェルト(家具デザイナー)自身にも興味があったので、彼が作った大学に行ってみたいという気持ちがありました。ですが、それと同時に、自分の小さい頃の記憶とか、ルーツみたいなものを辿ったときに、やっぱりアジアの雰囲気が大好きだったことと、当時ちょうど自分の制作活動の中に、仏教信仰が組み込まれ始めていて、最後に土壇場でタイに行くことを決めました。

**摩庭** たしかに、当時描いていた作品はアジアンティストだったよね。タイの大学を選択して正解だったと思うよ!!

ちなみに、留学のための語学学習にはどれくらい時間をかけていたの？

**黄地** IELTSの対策を始めたのは、交換留学に応募する前でした。具体的には、3~4か月くらいで対策をして試験を受けました。

**摩庭** それであのスコアを取れたのはすごいよ!!

**黄地** ハゲるほど勉強しました(笑)。

**摩庭** 国際交流センターは本部棟にあって、学生がちよっと立ち寄りにくい場所にあると思うんだけど、実際のところ学生から見て国際交流センターってどんな雰囲気なの？

**黄地** 雰囲気はとてもオープン!! ドアがいつも開いているっていうのもあるんですけど。あと、大きなガラス張りの部屋なので、外からも中の様子が見えるのは、他の部署とは違うのかなと思います。入りにくいことはないと思います。あとは、職員のみなさんがフランクですね。

**摩庭** それならよかった。職員室みたいな雰囲気じゃないかと心配される学生さんもいるんだけど、そんなことはないよね。

**黄地** そんなことないです。オープンすぎますね(笑)。

**摩庭** 学生たちと話す、こっちは楽しくて時間を忘れちゃう。本当にいろんな学生が来てくれるからね。それこそ、黄地さんみたいにね。

**黄地** ひとつのコミュニティみたいになってますよね。国際交流の発信地というか、中心地みたいな感じに。ここに来ると、フランス語を勉強している学生がブツブツとフランス語を喋っていたり、英会話練習をしている学生がいたり、摩庭さんが語学コーチングをしていたり、いろんな言語が聞こえてくる場所があるというのは美大だとすごく珍しいんじゃないかなと思いますね。

**摩庭** ちょっとでもそんな空間を学生たちに提供できていたようで良かった。いい意味で、たまり場のような、学生同士がコミュニケーションを取ることができる場所になってくれていて、すごく嬉しい。

## 職員の皆さんが『主体性を持ち続けられるように』バックアップしてくれた

**摩庭** これから留学を目指す学生たちが、国際交流センターでどんなサポートを受けられるのか、という話を学生目線から教えてくれる？

**黄地** まず、交換留学に応募するまでのサポートをたくさんしていただきました。特に、ポートフォリオの作成に関するサポートですね。英語ネイティブに作品キャプションの校正してもらえたのは嬉しかったです。あと、協定校を選ぶ上で、多くのアドバイスをいただいた記憶もあります。やっぱり、最終的には留学するのは学生自身ですし、「最後は自分で留学先を決めることができた」と今思っているのは、国際交流センター職員のみなさんが良い感じで背中を押しながら、応援して導いてくださったからだと思います。

**摩庭** いいこと言ってくれるじゃん(笑)!!

**黄地** 職員のみなさんが、私が主体性を持ち続けられるようにいつもバックアップしてくださって、国際交流センターに行くも摩庭さんがいつもポジティブな言葉をかけてくださるんですよ。「ちょっとIELTS不安です」とかポロっと漏らしても「そんなわけないでしょ!! いけるよ!!」みたいな。いつもこうお尻を叩いて、テンション上げてくれるみたいな。遊びに来るだけで支えられてました。

**摩庭** ホントに? そんないいこと言ってもらったらさ、調子に乗っちゃうからね!! マジで(笑)!!



## 国際交流センター長からひとこと

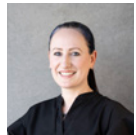


国際交流センター長  
メディア芸術コース教授

## 久保田 晃弘

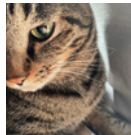
留学の意義のひとつは、マイノリティを体験することだと思います。慣れ親しんだものに囲まれた、日常生活では見えなかったさまざまなものが、海外という別の場所を通じて、新たな意味と共に立ち上がってきます。それは、自身の創作活動やこれからの進路に対しても、大きな問いかけになるに違いありません。留学に行こうかどうか迷ったら、ぜひ挑戦を！

## 国際交流センター所属教職員



## ムーニー・スザンヌ

大学院研究科 准教授  
UEA  
(University Education Administrator  
for Global Engagement)  
言語：英語（木曜在室）



## 石川 翼

国際交流センター課長  
言語：英語



## 本 真澄

専任職員  
言語：英語



## 摩庭 啓人

専任職員  
言語：英語



## 吉田 玉青

専任職員  
言語：英語



## 牧 祥子

専任職員  
言語：中国語・韓国語



## 栗山 小百合

パート職員

## 各学科 国際交流センター運営委員

日本画 — 陳芴宇 講師  
油画 — 村瀬恭子 教授  
版画 — 佐竹邦子 教授  
彫刻 — 笠原恵実子 教授  
工芸 — 行武治美 教授

グラフィック — 佐賀一郎 准教授  
プロダクト — 濱田芳治 教授  
テキスタイル — 川井由夏 教授  
建築・環境 — 田嶋豊 准教授  
情報 — 港千尋 教授

芸術学 — 大島徹也 教授  
統合 — 佐々木千穂 教授  
演劇舞踊 — 加納豊美 教授  
リベラルアーツセンター — 外館和子 教授  
大学院 — 木下京子 教授

(2024年3月現在)

## 国際交流センター お役立ち情報

## 八王子キャンパス窓口

八王子キャンパス 本部棟 2階

開室時間：月～土 9:00～17:30（休暇期間中を除く）

E-mail: intl-ex@tamabi.ac.jp Tel: 042-679-5605



語学の勉強方法や外国人の友人を作りたい等、些細なことでも、国際交流に関することなら気軽に相談してください。ご希望の方は、相談フォームよりお申し込みください。上野毛キャンパスの学生は、オンラインで相談に乗ることもできます。

## 上野毛キャンパス国際交流コーナー

上野毛キャンパス 2号館3階

リベラルアーツセンター事務室前

- 本の貸し出し
- 資料閲覧
- 資料の無料配布

## 交換留学生のサポーター募集！

国際交流センターでは海外協定校から来る交換留学生のサポートをしてくれる学生を随時募集しています。

- 住民登録の手続きをサポート
- 学内で困っていることをサポート
- 部活に参加したい留学生をサポート etc.

## SNS・Web サイト

X (旧Twitter)



Instagram



Web



ブログ



# 渡航に向けての準備

## 危機管理

海外に渡航・滞在する際には、安全について日本国内で生活している時とは異なる心構えが必要です。特にテロ、麻薬犯罪等には十分注意してください。また、海外では、日本ではなじみのない感染症が流行している場合があります。海外へ渡航する際には、出発前に渡航先の情勢を十分に認識し、誘拐、脅迫、テロ等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、外務省が発出する渡航情報、関連情報ホームページ及び報道等により、最新の関連情報を入手してください。

## 渡航先の情報収集

留学する国や地域の情報を事前に把握しておくことは重要です。外務省のホームページを確認してください。渡航前に「たびレジ」(3ヶ月未満)や「在留届」(3ヶ月以上)の登録も忘れずに行ってください。現地で事件・事故に巻き込まれた場合に連絡できるよう、渡航先の在外公館の連絡先を確認してください。



## パスポートの取得

海外渡航をするとき、必ず用意しなければならないもの、それが「パスポート(日本国旅券)」です。パスポートの申請は基本的に、住んでいる都道府県の窓口で行っています。申請してから発行まで都道府県によって異なりますが、概ね1~2週間程度です。戸籍抄本など必要な書類を用意するのに時間がかかることがありますので、早めに申請の準備をしてください。



## ビザの取得

渡航先によってビザの要否・種類が異なります。ビザ申請に関する要件や書類手続き方法は頻繁に変更されます。渡航先の大使館のホームページにはビザ申請だけではなく渡航に関する情報が多く掲載されていますのでよく確認してください。

## クレジットカードと銀行口座

海外では多くの現金を持ち歩くのは危険です。ホテル等の予約の際にも必要になりますので渡航前に必ずクレジットカードを取得してください。また、交換留学や中長期の私費留学の際には現地の銀行口座を開設する必要も場合によってはあります。

## 海外旅行保険の加入

海外で急な病気になったり、事故などで怪我をした場合、渡航先によっては多額の治療費がかかります。日本国内のように健康保険を利用して治療を受けることはできません。個人で渡航する場合にも海外旅行保険は必ず加入しましょう。大学のプログラムで渡航する場合は大学の指定する保険に加入していただきます。通常の保険会社で加入するよりも割安となっています。

## 日本アイラックによる安心サポート (交換留学、Pacific Rimのみ対象)

本学の留学制度を利用した渡航においては、外部危機管理会社のサポートを受けられます。専用スマートフォンアプリを使った安否確認や24時間年中無休の緊急受付、事故・病気等の相談窓口、有事の際の在外公館や保険会社等と協力し対応する体制を整備しています。

# 安全対策リンク集

## 外務省「海外安全ホームページ」

日本政府が収集した世界各国の情報を確認できます。各地域の危険度を色分けした危険情報を確認し、渡航先がどのレベルか必ず確認しましょう。



## 外務省「海外安全劇場」

海外で巻き込まれる犯罪手法を再現したビデオは必見です。



## OTOA 都市別安全情報 (社)日本海外ツアーオペレーター協会

国・都市の一般情報や安全情報が確認できます。



## 外務省「オンライン在留届」

海外に3ヶ月以上滞在の方は登録が義務付けられています。緊急事態発生時には、大使館・総領事館がこの情報を基に安否確認や支援活動を行います。



## 外務省「たびレジ」※3ヶ月未満の方対象

登録したメールアドレスに在外公館から現地の最新の安全情報が配信されます。



## 在外公館リスト

留学先の最寄りの日本大使館・領事館の場所や連絡先を事前に確認しておきましょう。



# 留学をサポートする奨学金

奨学金には独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)から支給されるもの、民間の財団から支給されるもの、多摩美から支給されるものなど、さまざまな種類があります。奨学金を利用する場合は、募集が年に1回しかないものが多い上、応募期間も限定されているので、早くから情報を集めることが大切です。

## 日本学生支援機構(JASSO)・ 地方自治体・民間団体の奨学金

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)・地方自治体・民間団体の奨学金(給付型・貸与型)については、「海外留学奨学金パンフレット」からご覧ください。日本国内で募集されるものと現地で募集されるものがあります。



### 奨学金を得るための準備

1. よい成績を収める(高いGPAが求められる)
2. 語学、学力、資格試験を受験する(必要なスコアを準備する)
3. 研究活動を形にする(ポートフォリオや論文など)



